

ねづくプロジェクト@福岡市植物園ニュース 2022 9月号

ねづくニュース

第1回ミニレクチャー
「土壌について」
第2回ミニレクチャー
「寄せ植え」

宿根草花壇管理
土壌・堆肥について

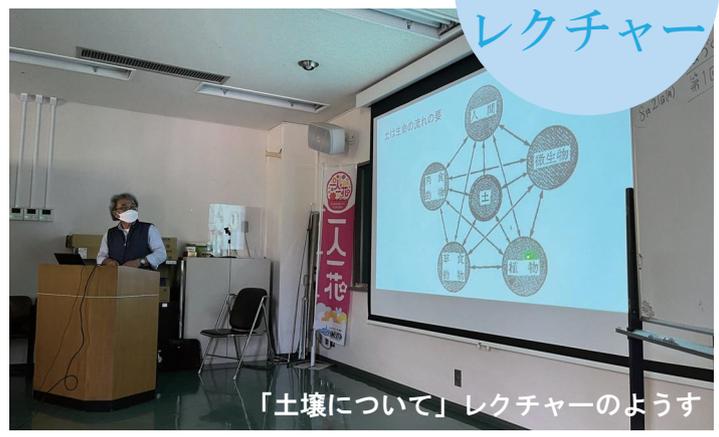
2022
9月号

第1回
ミニ
レクチャー

8.22月 14:00 - 16:00 「土壌について」

松本幸生先生（樹木医 / 九州グラウンド株式会社）をお招きし、第1回ミニレクチャー「土壌について」を開催しました。樹木医としてのお仕事のお話や、土壌診断の実演も交えながら、土壌の構造や重要性についてわかりやすくお話いただきました。

30人の参加者からたくさんの質問をいただき、土壌への関心の高さがうかがえるレクチャーとなりました。



「土壌について」レクチャーのようす



土壌性質を知る



宿根草ガーデンでのレクチャー

土壌についての質問・相談

レクチャーの中で出された参加者の質問や相談に、松本先生がお答えします。

Q. 今年のような暑さに対して、樹木や植えた苗等の土壌の管理はどのようにしたらよいでしょうか？

夏の植物の管理は、水のやり方が大事になってきます。地植えの場合は、植物が乾燥に耐えられるように、毎日水をやらずに、間隔をあけてたっぷり水をやるようにすると、水を求めて根を張るため、丈夫な株に育ちます。少量の水を頻繁にやることは、植物がその状態に慣れてしまい根を張らないため、乾燥に弱い株になります。もっとも猛暑の時期は植物の状態をよく見て、しおれなどが見られる場合は、速やかな水やりを行うことも欠かせません。午前中なるべく早い時間帯におこなうのが良いでしょう。

また、三相組成（固相、液相、気相）のバランスと、団粒構造の促進が重要です。固相・液相・気相を50：25：25%程度に保ち、団粒を増やすためには、熟度の高い（炭素率35以下）堆肥を重量比で3～5%程度、土壌の表層（深さ20～30cm迄）に混入します。同時に硫安などの窒素肥料も適量補填します。生の剪定屑、草刈屑などを土壌に混ぜ込むのは禁物です。

Q. 福岡に多い真砂土について知りたいです。植えて数年が経つと水も空気も入らなくなるので、その対策はありますか？

真砂土は花崗岩が風化しつつあるほぼ鉱物質の土壌のため、ほとんど有機質が入っていません。まぜれば混ぜるほど固結しやすくなります。有機質資材を混入して、時間をかけて土壌をつくっていくことが大切です。有機質を腐植化し最終的に植物が利用できる無機要素に分解してくれる土壌生物が活性化する土壌環境を作っていく事が重要です。

8.29月14:00 - 16:00

「寄せ植え」

第2回
ミニ
レクチャー

8/29（月）に開催した寄せ植えレクチャー。前半はプランター（鉢）、用土、植物について会議室で講座を行いました。後半は、植物園内のハーブ園に移動して、参加者それぞれで寄せ植え鉢をつくりました。

今回の寄せ植えのテーマは「宿根草ガーデン・ハーブガーデン」。実際に植え付ける苗は、一年草、宿根草、ハーブ、低木などさまざま。参加者は、自由に好きな苗を選んで、植付けを楽しんでいらっしゃいました。

今回つくった寄せ植えは植物園内のハーブ園に展示しています。これから、水やりをして生長を観察していきます。



寄せ植え講座の様子



お気に入りの苗を選定



鉢のサイズに合わせて配置



寄せ植えした鉢はハーブ園に展示しています

寄せ植えの苗の品種（一部抜粋）



アリウム



ルドベキア



この花、はじめて見ます！



この花とガラスの組み合わせもかわいいなあ～



ハーブの香りで、作業中も癒される



トウテイラン



スティパ（ナセラ）



参加者のみなさんで記念写真

お手本花壇管理

毎週月曜日・火曜日の午前10時から12時まで、宿根草花壇のお手入れをしています。参加は自由ですので、お気軽にお問い合わせください。

暑さが厳しい夏の間は、こまめに休憩をとりながら活動しました。植物の状態や全体のバランスを確認しながら、切り戻し、花がらつみ、支柱の設置、水やりなどのお手入れを行いました。

7-8月に開花の花

花びらの形が変わってる！
このルドベキアは初めて見ました。

茎がしっかりしていて倒れにくく、
花持ちもいいオミナエシ。
自宅でも植えてみようかな？



オニユリ



ルドベキア
'ヘンリーアイラズ'



ペルシカリア
'ファイヤーテール'



ガイラルディア
'グレープセンセーション'



オミナエシ



ヴァーノニア

宿根草花壇お悩みレクチャー

毎週月曜日・火曜日の14時から16時までは、宿根草花壇の管理の中で出た参加者の質問などにお答えする時間をとっています。7-8月の活動の中で、一番の関心は「堆肥」についてです。

毎週火曜日に参加者と堆肥の管理活動を実施しています

<主な活動内容>

- ・ 集めた落ち葉の切り替えしをして発酵を促進
- ・ 発酵具合の確認
- ・ 自分たちで土を触ったり、においを嗅いだりしています。
- ・ 簡易計測器を用いて、土のpH、温度、水分量などを計測。データをとって観察しています。



西日本短期大学生と落ち葉の切り替えし



確認ようす



水やり

堆肥ヤードのこれからの活動について 参加者の方々とまとめました

1. 堆肥づくりの目的

- ・ 自然の循環を学ぶ
- ・ 落ち葉のゴミをださない。堆肥にして、資源として活用
- ・ これから堆肥を作りたい方の参考になるように

2. 目標

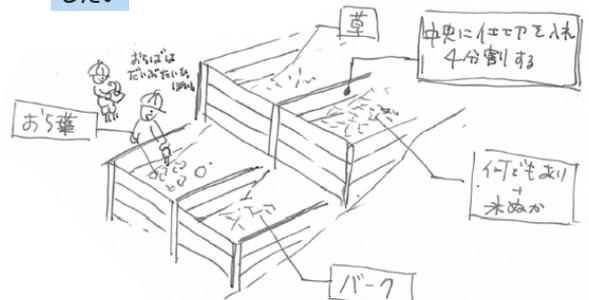
「植物園内でちゃんと使える堆肥をつくらう！！」

3. 活用の実現にむけて

- ① 入れるものを分けた堆肥化の実験 (落ち葉/草/バーク/米ぬか/何でもあり)
- ② だれでもできる堆肥化方法の研究
- ③ SNSによる情報発信

4. 具体的な活動方法、体制の理想 (※計画)

1. 自分たちで (少人数で) 管理、観察できるようなヤードを小さくしたい



2. 課題にぶち当たった時に相談、指導してくれる先生に来てほしい
3. 使う前に数値等の計測、検査をしたい (肌感覚といわれてもわからないため)

活動のご確認・
参加申込みが
できます。

お問い合わせ

ねづくプロジェクト@福岡市植物園
(事務局：(株) ランドスケープむら)

✉ nezukuproject@gmail.com

☎ 092-541-8845 (受付時間 平日 9:00 ~ 17:00)

follow us



@nezukuproject



@nezukuproject

